

領域	努力目標	努力事項	具体的実践事項	評価平均	1	2	3	4
学校運営全般	地域に関われ、信頼される学校づくり	1 教育方針や指導方針の明確化	① 学校や学年、学級の教育方針や指導方針等を保護者に伝えたか。	3.2				
		2 学校運営協議会への参画	② 学校運営協議会設置校であることを意識し、各コミュニティの活動に主体的に参画したか。	2.8				
		3 保護者や地域との連携	③ 保護者や地域と連携した教育活動に努めたか。	3.0				
		4 保護者や地域への情報提供	④ 各種通信等を通して保護者や地域へ教育活動全般の情報を提供したか。	3.3				
		5 施設・設備の適切な管理と活用	⑤ 施設・設備の整備や管理に努め、適切に活用したか。	3.2				
		【意見・気づき】・家庭教育学級は、保護者参加が少なく、職員研修になっていたように感じた（私たちも勉強になるのでよいが…）。PTA総会の日に合わせてできれば、多くの保護者に関いてもらえないだろうか。・保護者と直接会ったり電話で話したりして、連携を取った。・通信は有効だった。・学校通信を定期的に出すことができなかった。・学校運営協議会に地域学校協議会本部事業が組み込まれ、これからより開かれた学校になると感じる。PTA活動も活発に感じる。						
確かな学力の育成	「明日も勉強したくなる」授業の創造	1 授業改善への取組	⑥ 「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた「ひとよし型授業」への指導改善に取り組んだか。	3.0				
		2 わかる授業づくりの取組	⑦ 基礎・基本的事項を明確にし、その定着に向けたわかる授業づくりに努めたか。	3.2				
		3 個に応じた指導の充実	⑧ 各種調査等の結果を分析し、そのことに基づいた指導に努めたか。	2.7				
		4 読書活動の推進	⑨ 読書活動の充実に向けた指導を工夫したか。	2.7				
		5 主体的な学習態度の育成	⑩ 家庭学習の習慣化に向けた指導に努めたか。	2.7				
		【意見・気づき】・個に応じた学習内容を工夫し、繰り返し取り組んだ。授業改善に努めたものの、実現は十分できていない。・読書活動を充実させるための指導ができなかった。2学期は力を入れていきたい。・ひとよし型授業の展開を校内研修で深めていく必要がある。						
豊かな心の育成	自他を尊重する態度の育成	1 人権教育の充実	⑪ あらゆる教育活動の中で、人権尊重の精神に立った教育指導に努めたか。	3.1				
		2 基本的な生活習慣の育成	⑫ あいさつ、時間厳守、無言掃除の指導に努めたか。	3.2				
		3 道徳教育の充実	⑬ 感性を育み心に響くような道徳科授業の実践に努めたか。	3.0				
		4 積極的な生徒指導の推進	⑭ 生徒理解に努め、生徒の良さを認め伸ばす指導が実践できたか。	2.9				
		5 キャリア教育の充実	⑮ 将来への夢や職業を描き、学ぶことの意欲を高める指導に努めたか。	3.0				
		【意見・気づき】・将来について見通しを持てるよう、少しずつ本人保護者と進路相談を実施している。・道徳教育については、勉強不足の面が多々ある。・あらゆる指導の根幹に、人権教育の視点を常に捉えておく必要性を感じた。・言語環境の乱れは、自分を含め、教師自らも改めていく必要があると思う。						
健康教育の推進	たくましい心身の育成	1 体力の向上	⑯ 体力を高めるための指導の工夫に努めたか。	3.0				
		2 安全指導の徹底	⑰ 校内における事故や交通事故の防止に向けた指導に努めたか。	3.1				
		3 保健指導の充実	⑱ 健康調査や体力調査の結果に基づき、健康管理の指導に努めたか。	2.9				
		4 食に関する指導の充実	⑲ 望ましい生活リズム（早寝、早起き、朝ごはん）の指導に努めたか。	3.1				
		5 適正な部活動の推進	⑳ 指針及び規定に基づき、部活動の適切な指導に努めたか。	3.4				
		【意見・気づき】・健康調査、体力調査等に基づいて健康管理はしていなかったが、健康観察はきちんとできた。・交通マナー向上に向けた取組は、さらに改善が必要。・一・中学生は、部活動によく励んでいると思う。・自転車マナーの未定着が気になる。						
いじめに 関すること	いじめの未然防止と適切な対応	1 いじめの未然防止	㉑ いじめのない学級・学校づくりに取り組んだか。	3.3				
		2 いじめへの適切な対応	㉒ いじめが発生した場合、適切に対応したか。	3.2				
【意見・気づき】・自分の行動が相手にどう感じられているかについて、よく授業中に話した。・いじめには至っていないが、クラスの雰囲気向上に向けて努力していく。・学年主任、生徒指導部、管理職に相談し、アドバイスをいただくことで、解決につながることができた。・1学期はとても厳しい事業が発生した。誠心誠意対応していくしかない。								
学校改革	働き方改革の推進	1 総実勤務時間の縮減	長時間勤務の是正に向けて職務の効率化に努め、在校時間を短縮したか。	2.5				
		2 働き方に関する意識改革	勤務時間を意識して、めりはりのある勤務に努めたか。	2.7				
【意見・気づき】・勤務時間の意識はあったが、仕事が溜いつかず長時間勤務になってしまった。見直しを持って仕事できるようにしたい。・前年度より勤務時間が少なくなった。・少しでも勤務時間を短縮できるよう努める。・計画的、効率的に仕事を進めることができず、周りの先生方に助けてもらってばかりの1学期だった。2学期は見直しを持ち、計画的に余裕を持った仕事をしたい。・全職員の長時間労働の背景として、仕事量の多さがある。めりはりのある勤務に努めてはいるが、とても難しいのが現状である。								